

## 令和5年度 第2回酒田市公共施設適正化懇談会 議事録

日 時 : 令和5年9月25日(月) 14:30~15:50

場 所 : 松山城址館

参 加 者 : 委員/前田茂男、池田里枝、川島崇史、阿部公一、土田さゆり、  
堀佐登子、榎本和介、佐藤貴伸、門叶美咲、長堀亜由  
事務局/前田社会教育課長、小野社会教育課長補佐、齋藤総務課長、  
加藤総務課長補佐、伊藤資産経営主査

資 料 : ・次第

・資料1 社会教育施設等における施設のあり方について

### 【結果】

第3回公共施設適正化懇談会にて、施設の方向性をまとめる。

### 【議事要旨】

#### 1 公共施設の使用料について

○委員 旧使用料には水屋や控室などの付属施設は含まれていなかった。料金改定後、新たに料金設定されたのはどういった理由からか。茶道は茶室の他に水屋がないと行えない。

⇒(事務局) 料金改定の際、施設の維持管理コストについて、部屋ごとに積算した。一体としてではなく、利用する部屋の面積に応じた料金を設定した。

○委員長 和室を使う方の中には、水屋を利用しない方もいるため別にした。改定の際、1㎡あたりのコストから使用料を算定しているため、部屋ごとに料金設定した経緯がある。

○委員 水屋料金が別になったことにより、使用料が上がったように感じてしまう。

○委員長 料金改定前、近隣市町村と比べると、本市の使用料がかなり安かった経過がある。令和2年度の料金改定は、すべての施設を同じルールの基に見直し、大幅な値上げとならないよう値上がり率に対し上限を設け対応した。使用料は、維持管理費、利用率を基に算定している。

○委員 現在の使用料も、他市の施設に比べると妥当だと感じている。

○委員長 令和7年4月からの料金改定に向けて、総合的に考えたい。

○委員 コロナ等で施設を利用する人が減少している。使用料で施設の維持管理をどれくらい賄えるかが重要となってくる。使用料の算定方法は、よく理解できた。酒田市の使用料は他市と比べて高くない。

#### 2 施設コスト

○委員長 出羽遊心館のその他収入とは何か。

⇒（事務局）工事請負費に対する起債等の収入額。

○委員 出羽遊心館の興行による使用料は何倍か。

⇒（事務局）興行による使用料は5倍となっている。

○委員 市民一人当たりとはどの範囲か。

⇒（事務局）新生児から高齢者まで、すべての市民。

○委員 施設によって利用できる人と利用できない人がいる。市民一人当たりという計算は何か意味があるのか。

○委員長 すべての施設を統一して比較できる指標の一つとしている。

○委員 松山城址館の建設時、地域の民族芸能と融合的な施設にということで、能舞台と茶室を備えている。建設時のコンセプトにより、すべての市民が使える施設ではなくなった。コスト計算書の数字だけが一人歩きしないか不安。

○委員長 機械的に比較するためにこういった指標を用いている。その施設がどれくらい税負担しているのか意識していただきたい。施設を管理するにはコストがかかる。コストがかかっている以上、有効に活用してかなければならない。

○委員 施設コストは収入が増えれば収支のマイナスが減るが、当初から使用する人が限定された施設であったと思うため、難しい問題だと感じる。設置当初より人口減少が進み、次世代の負担が増加してしまっている。収入源を増やす手立ては必要だが、それにより施設の使用方法が設置当初の想定と異なった方法になってしまうため、現在利用している方々の意見も重要になってくる。

### 3 今後の施設のあり方（提案）

○委員長 まずは広く利用していただきたい。そのためには何ができるのかを検討したい。

○委員 施設は何かしらのコストがかかるものだと市民も認識しているが、その金額によっては拒絶反応も起きてしまう。利用者が少ないから必要のない施設ということではなく、イベントの開催等を通じて良い施設だと広めていきたい。安易に使用料を値下げするために稼働率を上げるのではなく、イベントの開催等に力を入れた方がいいのではないか。

○委員長 市が行う事業等ではなく、イベントで使用するといったイメージか。

○委員 より広く集客できるイベントが有効だと考える。大きいイベントやターゲットを絞ったイベントで新規の顧客を呼び込むといったことが必要。広く認知していただければより良い循環となる。

○委員長 イベントを行ってもらうには、まず施設を知ってもらう必要がある。

○委員 料金が高くても満足度が高ければ、納得してもらえる。利用が多ければ、施設コストが高くなっても理解できる。

○委員長 ぜひ利用していただきたい。市でも積極的に利用していきたい。

○委員 出羽遊心館の庭がきれいなので、成人式や卒業式の際、和室で着付けし、庭で記念撮影するといった利用がいいのではないか。着物店と写真店が一緒になって行えば、利用者は

満足する。施設側も稼働率が上がる上に、新成人等からも施設を認知してもらえる。その後の結婚式でも利用してもらえないのではないか。

○委員長 とてもいい循環だと思う。

○委員 松山城址館も結婚式の前撮りで利用していただいている。こういった施設が利用出来れば、写真店も利用者に紹介できると言っていた。出羽遊心館も松山城址館も撮影場所としてのロケーションがいい。コスプレの方の撮影場所として利用してもらいたい。こういったアイデアを市民の方々からもいただきたい。

○委員長 色々発信し、使いたい人を増やしていきたい。

○委員 出羽遊心館の和室の一部は、堀ごたつになる。冬季間の誘客につながる。

○委員 以前、クルーズ船が来た際に手伝いに行く機会があった。甲冑などを着て撮影するなど、楽しんでいる姿を見かけたが、中町から別の場所に移動する人は少なかった。こういったイベントの際に、中町から出羽遊心館等に移動出来れば、日本文化をもっと楽しんでいただけるため、まずは施設へ誘導することが必要。

○委員長 クルーズ船が来ても出羽遊心館等へ誘導出来ていないことも課題。

○委員 出羽遊心館にはw i f iが入っていないため、利用出来ない場面がある。研究会等で利用したくても、紙で資料を用意しなければならない。

○委員 新たな試みを行う際は、利用に関するマナーの問題が発生することがある。利用に関する規定をしっかり作っていただきたい。収入源を増やすことは難しいと思うが、利用者が増えれば施設を維持する価値はあるのではないかと。そもそも建設時には、維持費がある程度かかってもいい施設としていたのではないかと。他の施設との兼ね合いもある。

○委員長 施設使用料が増加しなくても、市の施設である以上、市民の幸福度を増すためにしっかり利用していただければいいという考えもある。施設コストが減少すればいいという訳でもないが、施設の維持管理経費が市の財政を圧迫していることも事実としてある。まずは、より多くの方から利用していただきたい。そのために色々な利用の仕方を提案していきたい。出羽遊心館など日本家屋を特徴とした施設における品格もあり、その施設の特徴を理解して利用していきながら、一方で施設コストの削減もし、施設を維持していきたい。次回の懇談会では、方向性をまとめていきたい。

以上